



第2学年 学年だより

やるなら
とにかく

夏休み号

R1.7.19

やりきる夏に、やりきる自分に

学級発表、運動会そしてグリーンスクール、多くのイベントが盛りだくさんだった1学期が終わりました。今学期も、昨年度同様に2学年の生徒たちの輝く姿をたくさん見ることができたように思います。4月の学級発表では、新しい担任の萩原先生を迎えて、悲鳴にも近い歓声の中でのスタートを切り、それぞれが新しい一歩を力強く踏み出しました。5月の運動会では、それぞれが全力で競技に取り組むことで、新しいクラスに芽生えた絆をしっかりと見ることができました。そして6月のグリーンスクールでは、挑んだ生徒全員での編笠山登頂を含め、3日間とことん自然の本質に向き合いました。一人一人の活躍は、三者面談の際に各学級の担任からたくさんお聞きいただければと思います。

本日生徒たちに通知表を見せると「やったー！」という喜びの声から「親に怒られる…」なんて声も聞かれました。先日行った1学期の反省をしている中で「もう少ししっかり勉強しておけばよかった」とか「計画的にやることが大切だと思った」という言葉を多く耳にしました。そんな生徒たちに昨日の学年集会で伝えたことは、「“やらなかった”と“やれなかった”では違う」ということ。忙しい日々や自分の不得意なことなどで、頑張ってもできないことはあると思います。しかし、本当はやれる時間も、やれる力もあるにも関わらず、何かを言い訳にすることでやらなかったことはなかっただけでしょうか。明日から始まる夏休み、長い長いと思っていても、時間はあっという間に過ぎていきます。その中で全員に同じだけ与えられた時間と課題、夏の終わりに「だって…」と口にせずに済むように、計画的にやりきる自分であってもらいたいと思います。

ぜひ、1学期の様々な思い出をご家族でも楽しく振り返っていただければ幸いです。

文責：三戸

夏休みの生徒日直について

7月31日（水） 2-1

8月 9日（金） 2-2

8月19日（月） 2-4

8月21日（水） 2-3

8:30 生徒昇降口集合 9:00 解散

※欠席連絡は8:05~8:25の間にお願いいたします。

事前に欠席がわかっている場合は、他クラスの日直の日で都合の良い日を選択し、担任に連絡してその日に参加するようにしてください。

1学期を振り返って

1組 松井杏介

僕は今まで、みんなをまとめる仕事をやったことがありませんでした。だから最初は不安でした。しかし、声かけなどを頑張っていくうちにだんだん自信がついてきました。GSではみんなと協力して、最高の思い出を作る事ができました。2学期はクラスがもっと良い方向に向かえるようにしていきたいです。

2組 神山航聖

僕が一番心に残っていること、それは GS での山登りです。編笠山を全員で登り切るという、とても凄いことができました。その大きな要因として考えられるのが協力です。山登りが苦手な人でも手を差し伸べあうことで最後まで頑張ることができました。助け合う学年になれば奇跡を起こすことができる。そんな学年、学級にしていきたいと思います。

3組 片岡望愛

2年生になり、私は初めて副級長、GS 実行を務めました。GS は中学校生活でたった一度の大変な行事だから私は最高の思い出にできるか不安でした。でも、私のできない事などをクラスのみんながサポートしてくれました。その時に3組は思いやりのあるクラスだと実感しました。1学期に副級長と実行になることができて本当によかったです。

4組 鈴木涼太

僕が1学期を振り返って1番思うことは、評議委員になったことです。クラス替えをして話したことのない人もいる中で、クラスの先頭に立ち、GS では実行委員長になって、みんなと協力しあい学年を引っ張ることができました。このような経験によって自信がつきました。この経験をこれからに活かしたいと思います。

GSプレゼンテーション

GSのまとめとして班ごとに学んだことを模造紙に書き、4日にクラスでのプレゼン、11日にはクラス代表の班によるプレゼンを行い、それぞれが感じた「自然の本質」を発表しました。聞き入る話があったり、笑いを交えたりとみんな工夫を凝らしどの班も素晴らしい発表をしてくれました。



救命救急法講習が行われました

1日に救急救命法講習が行われました。適切な処置を少しでも早く行うことで助かる命もあるということを学び、人形を使った実践練習を行いました。テレビ等でなんとなくやり方はわかっていると言っていた生徒も、蘇生の前に色々な確認をすることや、心臓マッサージは思っていたより速く、力を入れなくてはならないなど、新たに学ぶことも多くありました。今回の講習会にあたり、司会等で頑張ってくれた保健委員会の感想です。

1組 川上直輝

私はこの救命救急法を学んで自分の命はもちろんですが、他人の命も救えたらいいなど改めて思いました。

私は先日祖父を亡くしました。未だに実感がなく、悲しいという気持ちだけでは表し切れません。だからこそ、この学習はすごく心に響きました。他人事にせずたくさん人の命を救えるようになりたいです。

2組 阿部海斗

僕は今回の救急救命法講習会を受けて、救命救急の大切さを改めて知ることができました。

心肺停止に陥ってしまった人に心肺蘇生法やAEDを使用することによって助かる事もあるということがよくわかったので、もし自分がこのような場にいることがあったら、今回の講習会で学んだことが生かせるようにしたいと思いました。

3組 斎木芽依

救急救命法の講習を受けて、私自身の手で人の命を救えるという事を実感しました。日常生活の中で、目の前で人が倒れているという場面は滅多にないですが、その時には今回の体験を活かそうと思います。そのため身の回りのAEDの設置場所の確認など、たくさんの事を知り意識を高めていこうと思います。

4組 子安みくる

私は講習を受けて、1日に200人以上の人々が亡くなっていること、心肺蘇生をするには思っていたよりも力が必要なことを学びました。

私は何事もすぐに自信をなくしてしまうけれど、こういう事に遭遇したときは勇気を出してひとりでも多くの命を救うことができるようになりたいと思いました。

